

# 情報リテラシー を持った学生の 育成

6班

平成24年度学術情報リテラシー教育担当者研修

2012年10月26日

# 何が問題？

- リテラシー教育の場を設定しても・・・  
内容が定着しない  
寝ている・化粧している  
ネットの閲覧をしている  
↓  
興味を持ってもらえない。



# 目的・目標

- 何で興味を持ってもらえないのか？  
情報リテラシーの重要性が伝わっていない。  
目的を持ち、能動的、主体的に取り組めていない。  
ニーズやタイミングのズレ
- ⇒ 基本的スキルとして、身につけていかない。



# なぜ起きています？ (背景・原因)

- 学ぶ意識・スタイルの変化  
ググって終わり
- そもそも、学生が図書館に来ない。  
敷居が高い？ 興味が無い！？
- 教える側（図書館）の不足  
(人員・空間・時間・スキル)



# 解決するには？ (方針・展望)

- 学生の中に目的を持たせる。
- メリットを気づかせる。



# 具体的な対策・行動

- ・ 連携を図る（他部署・教員・学生）
- ・ アンケートの実施
- ・ マニュアル整備
- ・ イメージ戦略
- ・ マイ・ライブラリアン
- ・ 行動宣言（仮）

⇒効果的かつ魅力的なりテラシー教育を行う事が可能となり、大学図書館が学生の頼れる存在になります。



# まとめ

情報リテラシーを持った  
学生が育成できる。

